

次年度も笑顔のために

東京都西東京市立田無小学校
主任栄養教諭 根本 紀子

2月は新入生保護者会（説明会）の時期です。小学校では就学時検診で新入生の情報がある程度把握できますが、中学校では初めての顔合わせです。小学校・中学校ともに重要なのがこの会です。保護者は、入学後の生活に不安を抱えつつも期待を持って参加します。学校生活はもちろんのこと、給食運営を円滑に行うために必要な相互の情報提供の場です。給食費の引き落としについての説明は、教材費などとの関係もあるので、担当と連携をとって準備しましょう。そして、私たちの最も欲しい情報が、食物アレルギーについてです。ここで、情報をつかみながら保護者との最初の関係づくりをします。もちろん食物アレルギーの情報は、クラス分けの際にも重要事項ですので、慎重に行いましょう。

理想的な流れとしては、就学時検診の際に食物アレルギーについての全員アンケートをとり、情報をつかんでおきましょう。この時に、可能ならば生活管理指導票を渡して、医療機関にて診断を依頼します。そして、新入生保護者会では具体的に面談の日などの見通しもつけられると良いですね。在校生の面談は年度内に行っておくと年度当初の余裕が生まれます。在校生の生活管理指導票は早めに準備してもらいましょう。

食物アレルギー以外にも医療機関にかかるような事情があり、その受診とあわせて食物アレルギーについても診断を仰ぎたい、また、連続した休みを利用して負荷試験を行いたい保護者もいるでしょう。コロナ禍での受診のタイミングなども考慮すると早めのお知らせが好ましく、冬休み前にアナウンスできるといいですね。

日々の仕事に追われて時期を逸することがないように、「食物アレルギー年間計画」を食物アレルギー対応委員会で作成しておきましょう。学校におけるアレルギー対応というと、学校栄養職員の役割であるというイメージが強く持たれています。しかし、食物アレルギーは、いろいろなアレルギーの中の一つです。割合では花粉症を含むアレルギー性鼻炎や喘息などの吸入性アレルギーにはとても及びません。ハチアレルギーや動物のアレルギーなども学校生活において重要な情報です。対応時にあらゆる情報をつかんでいる養護教諭と連携をとっていきましょう。

そして児童生徒の情報と対応を学校内で共有し、決して「命」を一人で抱え込まないようにしましょう。

おっと、年度当初の緊急時シミュレーション研修の企画もそろそろなくては・・・。
正月ボケをしている場合ではなさそうですね。

(2023, 2月号「学校の食事」《給食時間は私たちの時間!》11より抜粋)